

教科	数学科	学年	第2学年	担当者	長谷川 宗汰
----	-----	----	------	-----	--------

[教科目標]

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさやよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

[使用教科書・教材等]

教科書 : 東京書籍 新しい数学2年
ワーク : 数学の学習ノート2年

[学習計画]

学期	単元名	学習のねらい (身につけたい力)	準備物
1 学期	1章 式の計算	○事象の中に数量の関係を見出し、それを文字を用いて式に表し、活用が出来るようにするとともに、文字を用いた式の計算ができる。 ・ 整式の加法、減法および単項式の乗法、除法の計算ができる。 ・ 文字式を利用したり、目的に応じて式を変形させたりすることができる。	
	2章 連立方程式	○連立方程式について理解し、それを用いることができる。 ・ 連立方程式の解の意味を理解し、連立方程式を解くことができる。 ・ 連立方程式を利用して、問題を解決することができる。	
2 学期	3章 1次関数	○具体的な事象から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、1次関数について理解することができるようにするとともに、関数関係を見出し表現し、考察することができる。 ・ 表、式、グラフを用いて、1次関数の特徴を調べることができる。 ・ 事象の中にある1次関数を見出し、表現することができる。 ・ 具体的な事象の考察に、1次関数を活用することができる。 ・ 2元1次方程式を、関数を表す式と見直すことができる。	定規 コンパス
	4章 図形の調べ方	○観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見出し、平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして、それらを確認することができる。 ・ 平行線や角の性質にもとづいて図形の性質を調べることができる。 ・ 多角形の角についての性質を見出すことができる。 ・ 証明の意義と方法を理解することができる。 ・ 図形の合同の意味を理解し、三角形の合同条件を見出し、それを活用できる。	
3 学期	5章 図形の性質と証明	○平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察できる。 ・ 三角形や平行四辺形の性質を見出し、確かめることができる。	定規
	6章 確率	○具体的な事象の観察や実験を通して、確率について理解することができる。 ・ 起りうる場合を順序よく整理することができる。 ・ 確率の意味を理解し、簡単な確率を求めることができる。	

[評価の観点と評価の方法] (通知表のつけ方)

評価の観点	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
評価の観点の趣旨	○数学の学習に興味や関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする態度。 ○自ら進んで問題を解決しようとする態度。	○物事を数理的にとらえ、論理的に解決する力。 ○問題を解決するために筋道立てて考えることができる。	○数学的な表現・技能(物事を数理的に表現し、またそのための技能)を習得し、確実に処理することができる力。	○数学の基礎的な概念や定義・定理を理解しているかどうか。
評価の方法	○授業の様子 ○準備物・提出物 ○発表の様子・ノート ○振り返り	○定期テスト部分点 ○単元テスト ○学習の様子 ○振り返り	○定期テストの部分点 ○単元テスト ○学習の様子	○定期テストの部分点 ○単元テスト ○学習の様子

[授業の受け方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

1 授業で大切にすること
① 説明や仲間の意見をしっかりと聴く。
② 授業を大切にする。(私語をせず、集中して授業に参加する。)
③ 繰り返し問題を解いて、知識・解法を身に付ける。
2 協働学習を大切にすること
アクティブ・ラーニングといい、自ら課題を見つけ、学習を進めることを大切にします。数学を学習していく上で分からないところを仲間に聞いたり、教えたりする力をつけていきましょう。

[家庭学習の進め方・学習のポイント] (担当の先生からのアドバイス)

・予習・復習をしっかりと行うこと！
①その日に学習した内容を必ず復習する。(学習した内容の問題を再度解く。)
②その日出た宿題は、必ずその日にやりきる。
③次の学習内容を予習し、わからない所を明らかにしてから授業に臨む。